

# 名家連ニュース

平成30年3月23日(金)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 514号

## 各家族会代表者・名古屋市障害企画課との懇談概要

3月17日(土)、市内13家族会の代表者25名が参加し、名古屋市障害企画課から平成30年度から始まる下記の施策について説明を受け、意見を交換しました。施策の主な内容をお知らせいたします。

### 《名古屋市の保健所体制及び保健と福祉の連携強化について》

#### (1) 保健所体制の現状と再編

【現状】各区に保健所を設置し、区役所支所のある北区、西区、中川区、港区、守山区及び緑区に保健所分室を設置している。(16保健所体制)

【再編】本庁に保健所を設置し、各区に保健所支所を設置(1保健所・16保健所支所体制)し、各区の保健所支所の名称を「保健センター」とする。施行時期は平成30年4月1日。

#### (2) 保健と福祉の連携強化

・個々の支援場面における保健と福祉の連携強化に加え、地域や関係機関とのネットワークによる多面的な支援が重要となっている。

・保健所と社会福祉事務所の職員が明確な役割分担のもと、情報共有や安定的な支援ができる体制や、区における保健部門と福祉部門が一体的に機能する区組織に再編を行う。

・従来の保健所分室に障害福祉関係業務窓口を開設する。(分室に拡充する主な業務：自立支援医療、精神障害者保健福祉手帳、精神障害者福祉特別乗車券、特定医療費助成制度、障害福祉サービス)

・平成31年度以降の障害福祉窓口の一元化を視野に当事者の意見を聴きつつ検討を行う。



### 《名古屋市における精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム》

#### ○地域におけるネットワーク

##### 1. 措置入院者の退院後支援のネットワークづくり(合議体)

【構成】措置入院者、保健所(精神障害者支援調整機関)、精神科病院(退院後生活環境相談員)、通院医療機関、その他の援助機関一退院後支援計画の作成、実施状況の把握、連絡調整を行う。

##### 2. 長期入院者の退院後支援のネットワークづくり

【ケース会議】退院する精神障害者ごとに構成する。ブロック会議の開催、各種施策の実施とともに地域移行・地域定着の支援を行う。

#### ○ブロックのネットワーク

【ブロック会議】地域移行を活性化するために、ピアサポーターの活用、対象者の選定、退院後の支援のための連携方法等を協議する場を市域4圏域「千種区・中区・昭和区・名東区」「中村区・熱田区・中川区・港区」「瑞穂区・南区・緑区・天白区」「東区・北区・西区・守山区」に設ける。



#### ○市域全体のネットワーク

##### 3. 市域全体の基盤を構築するネットワークづくり(精神障害者支援地域協議会)

【構成】保健所、関係行政機関、診療に関する学識経験者団体、障害者の自立及び社会参加の支援等に関する活動団体その他の関係団体、精神障害者の医療又は福祉に関連する職務従事者